

次世代モビリティサービスの導入に向けた大分県の実践

次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会委員

- **地元交通事業者**や**地域の代表**を委員とし、**市町村**や**有識者**からも話を聞きながら会議を進めていく

大分県が目指すべき方向性（案）


- **5年、10年先**の状況を見据えつつ、移動や交通に係る様々な**地域課題**に対応するため、**地元交通事業者等と共に**、先端技術を活用した次世代モビリティサービスの在り方を検討する。
- 検討にあたっては、次世代モビリティサービスの持続的かつ効果的な導入を図るため、その地域の交通事業者や周辺施設等を巻き込み、**移動の効率性向上のみならず、新たな経済価値を生み出す**仕組みとする。

区分	組織	氏名
交通事業者	(一社)大分県タクシー協会	会長 漢 二美
	(一社)大分県バス協会	会長 杉原 正晴
	九州旅客鉄道(株) 大分支社	支社長 貞苺 路也
地域代表	(公財)ツーリズムおおいた	会長 幸重 綱二
	(社福)シンフォニー	理事長 村上 和子
技術提供者	(公財)ハイパーネットワーク社会研究所	所長 青木 栄二
学識者	日本文理大学工学部	教授 吉村 充功
地方公共団体	大分県 商工観光労働部	部長 高濱 航

県内の先行した動き

大分市

- スマートモビリティチャレンジに選定。
- 9月、10月に自動運転実証運行を実施。



由布市

- グリーンスローモビリティ実証地域に選定。
- 先端技術による、アクセス改善等を図る。

